

第5次 日-韓 学術討論会

日本の書面添付制度及び 韓国の電子税金計算書の発行制度

(副題) 日本/会計参与制度のその後・韓国/税務士名称使用独占のその後

日時：2009/10/13(火)

場所：近畿税理士会会館

近畿税理士会/釜山地方税務士会

目 次

1 会長あいさつ

近畿税理士会 会長	/ 5
釜山地方税務士会 会長	/ 7

2 主題及び副題発表文

(日本/主題) 書面添付制度について	/ 9
発表者:業務対策部長 田中 勇治	
(日本/副題) 会計参与制度のその後について	/ 93
発表者:会計参与普及推進委員長 岩橋一好	
(韓国/主題) 電子税金計算書の発行制度について	/107
発表者:国際理事 郭 泰淳	
(韓国/副題) 税務士名称使用独占のその後について	/137
発表者:国際部員 黄 仁宰	

3 質疑応答

日本側から韓国側へ質問	/177
韓国側から日本側へ質問	/187

4 参考資料

(日本) 書面添付制度の普及・定着合意文 (日税連/国税庁)(韓国語)	/200
書面添付制度の普及・定着合意文 (日税連/国税庁)(日本語)	/201
(日本) 書面様式制定/法令解釈通達 (韓国語)	/202
書面様式制定/法令解釈通達 (日本語)	/203
(日本) 添付書面作成基準/指針 (日税連) (日本語)	/214
添付書面作成基準/指針 (日税連) (韓国語)	/223
(日本) 国税庁長官/事務運営指針(法人税部門) (日本語)	/233
国税庁長官/事務運営指針(法人税部門) (韓国語)	/241
(日本) 税理士法および施行令 (日本語)	/248
税理士法および施行令 (韓国語)	/315

あ い さ つ

アンニョン ハシムニカ。(こんにちは)
近畿税理士会会長の宮口定雄でございます。
釜山地方税務士会 金 成 謙 会長様 並びに 役員の皆様方には、ご多忙のところ日本にお越しいただき、大阪でお会いできますことを大変うれしく思います。

貴会と当会は、1991年に 友好親善合意書を調印して以来、親善交流を深めて参りましたが、2005年からは、総会での相互交流だけでなく学術的な面から互いに研鑽して、より一層充実した交流を行うことを目的に毎年「学術討論会」を開催し、今回で5回目を迎えました。

今年は、貴会のテーマが、付加価値税の税金計算書電子化と税務士名称使用独占です。

現在電子申告が完全に定着段階に入っている貴国において、付加価値税法上、非常に重要である税金計算書が、来年1月から電子化されるという画期的な制度の概要について教えていただき、そして、2003年12月31日の法改正により認められた税務士の名称使用独占の実状について教えていただきたいと思います。

本会からのテーマは、書面添付制度と会計参与制度です。書面添付制度については、意見聴取制度とともに、税理士の権利として更なる普及・定着を図るための環境が整備されましたが、その現状と今後の展望についてご説明いたします。また、会計参与制度については、第2回学術討論会においてご紹介させていただきましたが、その後の経過と現在の状況についてご説明させていただきます。

私たちはともに、国民に信頼される税務に関する専門家として、隣国同士、いろいろな制度上の取組みについて、情報交換し、学びあいながら、この友好関係を継続・発展させていきたいと思っております。

本日は限られた時間ではございますが、この学術討論会が相互理解と友好をさらに深める有意義なものとなりますことを心から念願しております。

結びにあたり、貴会の益々のご発展と金 会長様並びに役員皆様のご健勝とご隆盛を心からお祈り申し上げてご挨拶いたします。
カムサハムニダ。

2009年10月13日

近 畿 税 理 士 会
会 長 宮 口 定 雄

会長挨拶

こんにちは。釜山地方税務士会 会長 金成謙 です。

宮口定雄会長をはじめとした、近畿税理士会会員の皆様！

今日皆様にお会いできる喜びを、言葉で表現するのが本当に難しいです。

両会は、1991年友好親善合意を結んで以来、毎年度重なる出会いと、特に昨年まで4回にかけて行われた学術討論会を通じて、友情を確かめました。

これは我々の出会いが、成熟期に達し、さらに一層、成熟した段階に入ったと考えられます。今後も相互理解と協力を土台として、両会の関係を一層発展させていこうと今更のように提案いたします。

今、韓国と日本をはじめとした、東北アジアは新しい時代変化に直面しています。新しい東北アジアの秩序は、平和に基づいた相互尊重と協力を通じて、共生する関係でなければならないと考えます。釜山地方税務士会と近畿税理士会の友好親善関係もそのような方向に進展して、進まなければならないでしょう。

今まで、いつもそのようにしてきたように、今日も我々は、この学術討論会を通じて、皆様から多くのことを学んで帰る事を期待しています。韓国の税務士制度は納税協力費用に対する市民団体の批判等、対内外的に色々難しい状況にあります。このような状況に対して賢く対処していかなければなりません。

韓国税務士会はこの状況に屈せず、より積極的に未来を準備しています。去る8月には、会員60%が投資して、電算法人“Hangil TIS”をスタートさせました。ドイツの“DATEV”に匹敵する電算法人を持つことが私たちの夢です。

時間が許す限り、多くの情報を交換することを願っています。

皆様の暖かい歓待に心より感謝し、この討論会のためで苦勞された、すべての方々のご苦勞を誉め讃えます。

最後に、近畿税理士会 宮口定雄会長をはじめとする、すべての役員と会員皆様のご健勝とご健康を祈って、私の挨拶に終えたいと思います。ありがとうございます。

2009年10.13

釜山地方税務士会 会長 金成謙